

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取り組み ～木津川上流域の減災対策協議会の設立～

— 木津川上流河川事務所 —

平成27年9月の関東・東北豪雨、平成26年8月の広島土砂災害を受けて、社会全体で大規模な水害・土砂災害に備える「水防災意識社会」の再構築を目指し、**市町村、府県、ダム管理者、河川管理者等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に実施**することを目的とした「**木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会**」を設立しました。

概要

対象河川：淀川水系木津川、服部川、柘植川、名張川、宇陀川、青蓮寺川

【日時】：平成28年6月1日（水）15:00～16:00
【場所】：名張市役所 1階 大会議室



【構成メンバー】

名張市長（会長）、伊賀市長（副会長）、津市長、曾爾村長、山添村長、宇陀市長、御杖村長、笠置町長、南山城村長、三重県(伊賀建設事務所長、津建設事務所長)、奈良県(奈良土木事務所長、宇陀土木事務所長)、京都府(山城南土木事務所長)、木津川ダム総合管理所長、津地方気象台長、木津川上流河川事務所長



【構成員の方の主な発言】

- 自治体の最大の使命は住民の生命・財産を守り、安全・安心を確保することである。水害・土砂災害への対応は大きなテーマとなっている。
- 昨今のゲリラ豪雨は何が起こるか分からない。スピード感を持って減災に努めなければならない。
- 紀伊半島災害や伊勢湾台風時にみられたような水害（流木による河道閉塞）を防ぐには、流木対策が重要と考えている。
- 紀伊半島災害ではTEC-FORCEが派遣され、二次災害を防ぐとともに、早期の復旧復興につながった。今後は、自治体の訓練にもTEC-FORCEをとりいれてはどうかと考えている。
- どこで大災害が発生してもおかしくない状況になってきている。
- 平成25年の洪水時は、浸水被害や主要道路の寸断により、市民生活に大きな影響を与えた。
- 河川改修事業の早期完了を改めてお願いしたい。
- 土砂災害警戒区域等の周知、避難経路等のマップ作成、一次避難所等の看板設置や防災訓練の実施等を考えている。
- 防災上の観点からの的確な情報を得るため、きめ細かい予報区で日常的に気象情報を提供頂くことをお願いしたい。



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所調査課
〒518-0723 三重県名張市木屋町812-1
TEL 0595-63-1611

人々の暮らしを守り 自然を守り 川とともに生きる

木津川上流河川事務所

